

2026 年 10 月 5 日
株式会社 小糸製作所

小糸製作所、Japan Mobility Show Bizweek 2026 に出展 ～「光」の最先端技術と光の可能性を拡大する協業を紹介～

株式会社小糸製作所（本社：東京都品川区、社長：加藤 充明、以下 KOITO）は、2026 年 10 月 13 日より幕張メッセにて開催される「Japan Mobility Show Bizweek 2026」に出展します。



出展ブースイメージ

KOITO は、2030 年に向けた「KOITO VISION ～人と地球の未来を照らす～」を掲げ、次世代モビリティ社会の安全・安心に向けた技術開発を推進しています。

本展示会では、KOITO の「光」の最先端技術を紹介する「KOITO Technology」と、企業や大学との協業・研究を通じて生み出された技術や、オープンイノベーションの取り組みを紹介する「Co-Creation」の 2 つのテーマを紹介します。

<Japan Mobility Show Bizweek 2026 開催概要>

- ・主 催：一般社団法人日本自動車工業会（JAMA）
- ・会 期：2026 年 10 月 13 日（火）～16 日（金）10：00～17：00
- ・会 場：幕張メッセ 国際展示場 展示ホール 2・3（〒261-8550 千葉県美浜区中瀬 2-1）
- ・オフィシャルサイト：<https://www.japan-mobility-show.com/>

<KOITO ブース>

- ・小間番号：ZONE4 E-24

ドライバーに最適な夜間視界を提供する高精細 ADB（Adaptive Driving Beam）や、「光」で人とクルマの意思疎通を可能にするシグナルロードプロジェクション等のライティング技術に加え、あらゆるモビリティの周辺監視ニーズに対応する LiDAR も展示します。

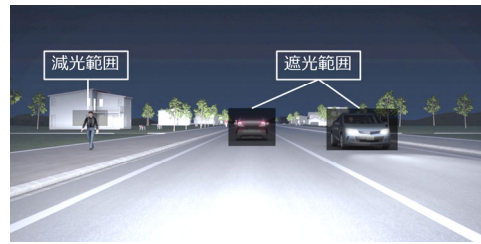
【出展アイテム】

高精細 ADB 搭載ヘッドランプ

高精細 ADB は、16,000 分割のマイクロ LED を個別に制御することで、従来の ADB（12 分割）に比べ、より緻密な配光の自動制御を実現します。対向車や前走車、歩行者へのまぶしさを抑えながら、ドライバーの夜間走行時の視認性を高め、安全性を確保します。



従来 ADB 遮光イメージ



高精細 ADB 遮光イメージ

シグナルロードプロジェクション搭載ヘッドランプ

1つの LED と 2つのレンズというシンプルな構造でありながら、ターンシグナルの点灯に合わせて路面にシェブロン（V字型のサイン）を投影・描画し、歩行者や周辺車両のドライバーにいち早く自車の存在や動きを知らせます。



カローラクロス搭載事例 投影パターン

融雪ランプ

寒冷地ではランプへの雪や氷の付着が、視認性を低下させ安全性を妨げることから、車両のスタイリングを損なわないまま、ランプ表面をヒーターで温めて冰雪を溶かす機能を備えた、ヘッドランプとリアランプを展示しています。



ヒーター作動前



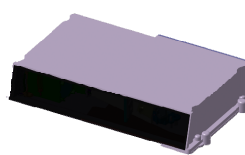
ヒーター作動中

LiDAR

建機・産機・農機車両やロボタク、バスなど幅広いモビリティの自動運転走行に必要な LiDAR として量産中の短距離用途（Nova）に加え、長距離用途の 2 種類の LiDAR を展示します。



短距離用 LiDAR（Nova）



長距離用 LiDAR

Co-Creation

KOITO は、大学・企業など幅広いパートナーとの協業を通じ、新たな価値を創出するオープンイノベーションを推進しています。KOITO が培ってきた「光」の技術とパートナーの知見を掛け合わせ、次世代モビリティにおける新たな可能性の創出に取り組んでいます。

今回は、ドライバーモニター連動 AFS (Adaptive Front Lighting System) やメタレンズ等、KOITO の技術シーズを活用した取り組みを紹介します。

【出展アイテム】

ドライバーモニター連動 AFS

ドライバーモニター連動 AFS は、ドライバーの視線の方向を画像センサーで検知し、その先をロービームで追加照射することで、夜間走行時の安全性向上に貢献するランプです。この技術を株式会社デンソー（本社：愛知県刈谷市、代表取締役社長：林 新之助）の画像センサーによる物体認識技術と、株式会社 J-QuAD DYNAMICS（本社：東京都中央区、代表取締役社長：渡辺 浩二）の車両統合制御ソフトウェア技術と組み合わせ、開発を進めているヘッドランプシステムです。

メタレンズ

メタレンズは、微細構造によって光の進み方を自在に制御することで、従来の球面レンズでは複数のレンズを必要とする光学機能をより少ないレンズ枚数で実現し、光の集光位置を精密に設計できるため、微細穴加工をはじめとする幅広い用途への応用が期待されるレンズです。国立大学法人東京大学（東京都文京区、総長：藤井 輝夫）と共同研究を進めている、次世代の光学技術です。

以 上

リリースに関するお問い合わせ：株式会社 小糸製作所 広報室
TEL 03-3443-7113 FAX 03-3447-1520